

公衆衛生学

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：公衆衛生学では、人々の疾病の予防、寿命の延長、身体・精神の健康の増進を図るための組織的な努力について、考え方や活動内容を学びます。

■**到達目標**：①人々の健康を決定するさまざまな要因について説明できること。
②主な健康指標の定義を説明できること。また、示されたデータを読み取り解釈できること。
③各々の公衆衛生活動分野における具体的な活動内容を説明できること。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎高橋 恭子、築島 恵理

■**授業計画・内容**：

- 第1回 公衆衛生学序論
 - 第2回 保健統計
 - 第3回 疫学
 - 第4回 疾病予防と健康管理
 - 第5回、第6回 主な疾病の予防
 - 第7回 環境保健
 - 第8回 地域保健と保健行政
 - 第9回 母子保健
 - 第10回 学校保健
 - 第11回 産業保健
 - 第12回 老人保健・福祉
 - 第13回 精神保健
 - 第14回 国際保健医療
 - 第15回 保健医療福祉の制度と法規
- 教員の都合により、順序が入れ替わることがあります。

■**教科書**：なし

■**参考文献**：『シンプル衛生公衆衛生学2016』鈴木庄亮、久道 茂監修（南江堂）
『国民衛生の動向2015/2016年版』（厚生統計協会）
その他参考資料として、学生本人の出生時の「母子健康手帳」（「親子手帳」等）を使用予定

■**成績評価基準と方法**：定期試験75%、授業態度・発表10%、出席15%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	◎		75%
小テスト・授業内レポート	○	○	○	多様な情報を関連付けて理解を深めている場合に加点対象。	
授業態度	○	○	○	授業の妨げになる行為は減点対象。受講生の理解を深める建設的な質問・意見発表は加点対象。	10%
発表	○	○	○		
課題・作品					
出席	○	○	○	2/3以上の出席	15%
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：地域保健学、保健統計、疫学、国際保健学、環境衛生、保健医療福祉行政論など

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：公衆衛生学は、患者のケアの場面でも、個人の全人的な背景を理解するために有用な知識となります。理解を深めるために、グループワークを実施しますので、積極的に発言をしてください。普段から、新聞、テレビなどの健康に関する情報にも関心を持って授業に臨んでください。